
■日本シミュレーション&ゲーミング学会 2010年度春季全国大会について

下記の要領で2010年度春季全国大会を開催いたします。多くの会員の参加をお待ちしております。

- ・日時：2010年6月11日（金）午後～12日（土）
- ・会場：大阪教育大学柏原キャンパス
（〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1 近鉄大阪線大阪教育大前下車、徒歩約15分）
- ・大会委員長：馬場則夫(大阪教育大学)

※本年度の春季全国大会では、シンポジウム等の企画セッションに加え、研究部会や個人の研究発表を予定しております。大会の詳細に関しては学会Webサイトで順次お知らせいたします。

<http://www.jasag.org/>

■2010年度研究部会の募集について

学術委員会では2010年度の研究部会を募集いたします。募集の締め切りは2010年3月15日です。詳細については同封の別紙もしくは学会Webサイトをご覧ください。

■第15回（2010年度）学会賞等候補者推薦募集のお願い

第15回（2010年度）の学会賞等候補者の推薦募集が開始されました。推薦募集を行うのは、学会賞／論文賞／優秀賞／奨励賞の四賞です。2010年3月31日までの活動・刊行・出版が対象となります。締切は2010年3月31日です。詳細については同封の別紙もしくは学会Webサイトをご覧ください。

■シミュレーション&ゲーミング学会誌特集号論文募集のお知らせ

学会誌編集委員会は、下記の要領で特集論文を募集します。多くの会員にご投稿いただければ幸いです。

学会誌編集委員会委員・特集エディター 大沼進（北海道大学）

- ・テーマ：ゲーム理論とシミュレーション&ゲーミング
- ・投稿締切：2010年8月31日
- ・掲載予定：2011年6月発行の学会誌
- ・投稿要領：通常の論文投稿規程に準じる。投稿に際しては、原稿の1ページ目および封筒に「特集：ゲーム理論とシミュレーション&ゲーミング」と朱書きのこと。また、電子ファイルの提出先は特集エディター宛とする。

（その他詳細は、学会誌2009年12月号または学会Webサイトをご参照ください。）

- ・問合せ先：大沼進（北海道大学） ohnuma@let.hokudai.ac.jp

ゲーム理論は、今日、多くの分野で使われるようになってきました。自然科学分野では、生態学や進化学だけでなく、物理学でも使われることがあります。工学などの分野でも基礎・応用研究に幅広く見られ、人文・社会科学でも、経済学、政治学、社会学、心理学など、多くの分野で使われています。こうした普及は、本来ならば、分野を超えたある種の共通言語として分野間の意思疎通を図りやすくしてく

れるはずですが、実際には、かけ声とは裏腹に、むしろ分野間の交流はかつてほど盛んなようには見えません。

もしかしたら、共通言語としてのゲーム理論という思い込みに反して、何か意思疎通を阻害している理由があるのかもしれませんが。あるいはもしかしたら、単にそれぞれの分野ごとにある程度確立された系として定着してしまったせいかもしれません。しかし、似たような共通言語に見えても、他分野でどのように使われているのか、どのような批判があるのかということを含んだ上で、学際的なシーンで次にどのような研究が必要かということを追求していく必要があるでしょう。

また、そもそもゲーム理論が前提としていることに対する批判や限界も多く指摘されてきました。曰く「合理的 agent という前提自体が非現実的だ」、曰く「個人（や個体）を単位とするという前提で社会（や自然）を見る見方そのものに限界があり、研究の範囲を狭くする」等々、枚挙にいとまがありません。JASAG では、早くからこの問題に気づいていて、ゲーム論的アプローチの限界を乗り越えようと試みたゲーミング技法がいくつも開発されてきたはずですが、しかし、その成果が、他（多）領域に十分伝わっているのでしょうか。JASAG は学際的研究の草分け的存在だったはずですが、今日となつては、あまりにも学際とか文理融合とかを唱える学会が増えすぎて、新たな分野からの参入者も減少傾向にあるように見えます。

こうした中、遠慮ない自由な議論ができる雰囲気があるという本学会の特長を活かし、ゲーム理論という共通言語と本学会における学際性をテーマにした特集への投稿を広く呼びかけたいと思います。具体的には、1) ゲーム理論というキーワードに関連する研究が様々な分野でどのように展開しているか、最先端の動向を紹介していただく、2) ゲーム理論が前提としている考え方を批判的に検討していただく、3) どのような研究の展開可能性があり得るか、事例や試案などを紹介していただく、などが考えられます。いずれのテーマでもかまわないし、これら3つのテーマでなくても、企画の主旨や問題意識に沿った内容であればどのようなものでもかまいません。また、まだ試験的・試作的な段階のもの、アイデアベースのものなども歓迎です。多くの方々からの積極的な投稿と幅広い議論をお待ちしています。特集を通じてみなさんと問題意識を共有でき、会員はもちろん非会員から見ても魅力的で多彩な研究の十字路となれば幸いです。

■ISAGA2010のお知らせ（ISAGA へいこうキャンペーン）

2010年7月5日から9日まで “Changing the World Through Meaningful Play” をテーマにアメリカのワシントン州においてISAGAが開催されます。投稿締切は4月10日、早期参加登録は5月8日までです（その後も登録可能です）。詳細はISAGAのWebサイトをご覧ください。http://www.isaga2010.org/

■会費納入のお願い

今年度の会費をお支払いでない会員の方はお早めの納入をお願いいたします。会費の振込用紙の紛失や電子振込のご相談などは事務センターまでどうぞ。

NPO法人日本シミュレーション&ゲーミング学会事務センター 担当：木崎（jasag-post@bunken.co.jp）

NPO 法人 日本シミュレーション&ゲーミング学会ニューズレター （2010年2月4日発行）

編集 組織・広報委員会 鐘ヶ江秀彦

発行 NPO 法人日本シミュレーション&

ゲーミング学会

JASAG ホームページ：http://www.jasag.org/

JASAG 全般に関するご意見・質問等：

secretary@jasag.org

NPO 法人日本シミュレーション&ゲーミング
学会事務センター

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19

Tel. (03) 5389-6278 Fax. (03) 3368-2822

担当：木崎（jasag-post@bunken.co.jp）